

金ヶ瀬中学校

4月には、それぞれの新しい生活が始まっているわけですが、卒業生には新しい環境での活躍を、在校生には新入生と共に新たな伝統を築いて行くことを期待したいと思います。

他にも恩師からのメッセージ紹介や中学校3年間の思い出の詰まったスライド上映が行われたり、感謝のメッセージを添えたプレゼントも送られたりと、盛りだくさんの内容となりました。

これまでの感謝を工夫を凝らして表現しました。会場には虹や羽ばたく鳥をモチーフに装飾が施され、普段とは違う華やかな雰囲気になりました。今年のメインアトラクションでは借り物競走が行われましたが、これは3年生の体を動かしたいという要望を後輩達が入れたものでした。軽妙な実況中継もあり、体育館が歓声と熱気に包まれました。



学び舎通信

感謝の心を込めた「3年生を送る会」

町内小中学校の情報を毎月お届けします

さくら並木

『つなぐ』、本町の果すべき役割 ～みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議設立～

大河原町長 齋 清志

新年度は、町の将来像を『ひとまち・桜が咲きほころぶ、先進のまち』とした第6次長期総合計画に基づく町政がいよいよスタートします。これまで以上に町民の皆さまの声を耳を傾け、様々な施策を柔軟かつスピード感を重視しながら展開し、先進的で健全な町政経営につなげてまいり所存です。町民の皆さまのより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

さて、平成31年度大河原町議会第1回定例会(3月会議)において、新年度の予算案を始めとする提出議案等がすべて満場一致で可決されたところであります。また、私の町政に臨む所信(施政方針)のなかで、5年目を迎える地方創生への取り組みにも様々な質問をいただきました。人口減少対策を中心とした国主導の取り組みですが、『勝者なき競争』と言われるように人口をめぐり地域間競争が避けられない現実となっております。現状は人口が維持されている本町でありませんが、広域的に捉えれば本町だけ人口が維持できれば良いということではないの明らかです。

こういった状況にあつて、地域全体の将来を考え、本町が果たすべき役割に目を向けるとき、『つなぐ』というキーワードが見えてくると受け止めています。それぞれの自治体を取り組む地域包括ケア体制の整備のように、支え合いや助け合いの仕組みづくりの上でも、人と人をつなぐことが最も大切な基本です。そして次に、人と地域や地域と地域をつなぐ具体的な手立てをどうするのか問われることになるかと認識するところです。

仙南の中心に位置し、その中心性・拠点性・利便性を合わせ持つ本町は、小さな町でも大きな役割を担う『スーパータウン』と呼ばれています。恵まれた環境を活かしながら率先して民間の活力やマネジメント力を行政に導入し、今こそ大河原らしいスタンスでのチャレンジが求められていると考えています。

先の2月25日に、仙南2市7町合意により本町が事務局となる『みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議』が設立されました。仙南地域の観光は残念ながら、『観光資源に恵まれている

が知名度が低く、多様性が高いが一体感が弱い観光圏」と指摘されています。このような弱点を克服するためには、それぞれの市町にある観光資源を結び付ける具体的な企画立案が必要であると考えたところです。県には、国と共に立ち上げた『宮城サイクルツーリズム推進協議会』もできました。健康増進やインバウンド増加の可能性など、交流だけではないつながり合う人口の拡大が期待できるものと考えます。

現代社会にあつては、介護・福祉の現場や観光振興ばかりでなく、安全・安心等あらゆる行政施策の展開のなかで人と人、人と地域、地域と地域がつながることが改めて極めて重要な視点になるはずですが、今回の推進会議の設立が、地域がひとつにつながって取り組みを試みる新基軸となることを切に願っているところです。

(3月20日記)

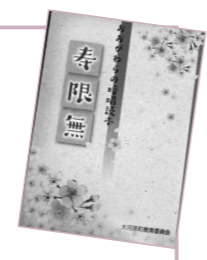


「できたよ発表会」
平成30年度の3学期の授業参観、2年生の教室では生活科「できたよ発表会」が行われていました。これまでの2年間を振り返り、自分ができるようになったことへの気付きを基に伝え合う活動です。その成長の気付きの一つに「暗唱」がありました。

「転校してきて暗唱に出合っって好きになり、頑張つて覚ええました」「1年生の頃はあまりできなかったけど、2年生ではたくさんできるようになりました」「1年生で楽しかった暗唱を2年生でも続けて、3・4年生の作品もたくさん覚ええました」など、作品と併せて「寿限無」への思いを元気に発表しました。

発表した作品のなかには高学年の「雨にも負けず」やチャレンジの「都道府県」もあり、子どもたちの意欲と暗唱力の高さに参観していた保護者の皆さんも感心していました。

取り組み始めて3年、「暗唱大好き」が日々の子どもの姿からうかがえます。



暗唱大好き

大小編



駅前図書館今月の新刊

ま ち の 本 棚



一般▶ 知識ゼロからの天皇の日本史 山本 博文:著 【幻冬舎】
125代におよぶ天皇と南北朝時代の北朝の天皇5人を取り上げ、その事績を概観。天皇に焦点をあてた歴史から、教科書とは違った日本史像が見えてくる。天皇と皇室に関するトリビアや用語も紹介。

小説▶ 天命 岩井 三四二:著 【光文社】
大内、尼子の二大勢力に翻弄される小国人・毛利家の次男に生まれた元就。戦国を駆け抜けた男の、生き方を変えたものは何だったのか。武略名高き西国の雄・毛利元就の戦いの生涯を描く。『小説宝石』掲載に書下ろしを追加。

児童▶ ぐらしの中のトイレの歴史 しおうら しんたろう:作・絵 【ポトス出版】
大おかしは、野原や川がトイレだった。トイレの歴史や、肥料に利用されたウンチャオシッコ、戦国武将のトイレ、江戸(えど)時代の將軍の健康チェック、おしりをふくための材料、パキュームカーの登場、水洗トイレの仕組みなど、トイレにまつわるいろいろな知識がのっています。飛行機などのトイレも紹介(しょうかい)。

絵本▶ ねこのつけしっぽ 吉田 愛:作 【講談社】
みじかいしっぽのねこのまち。みんな、ねこのしっぽは、みじかいものだとおもっていましたが、あるひ、ながいしっぽのねこがいることをして、びっくり。じぶんたちのみじかいしっぽがはずかしくなったねこたちは、ながい「つけしっぽ」をつけはじめました。まちでいちばんみじかいしっぽのにゃんこも、ながいしっぽがほしくなり…。